



レアル・マドリード・ファンデーション・フットボールアカデミー 一般社団法人グローバル・フットボール・マネジメント 会社概要 および 活動概要

2014年12月
一般社団法人グローバル・フットボール・マネジメント

はじめに

- ◆本書では、レアル・マドリード・ファンデーション（以下「レアル財団」）との日本および世界におけるサッカースクール事業（以下「本事業」）についてご紹介させていただきます。
- ◆本事業は、日本国内の少年少女にレアル財団のサッカー技術指導を受ける機会を提供するとともに、サッカーを通じた国際文化交流を推進することを目的として設立された一般社団法人であるグローバルフットボールマネジメント（以下「GFM」）が主体となって取り組むものです。
- ◆GFMは、レアル財団を通じ、アフリカ諸国の最貧国におけるレアルスクールの設立および運営費用に寄付しています。生徒数1人当たり20€（約3000円）を毎月送金しています。2013-2014年度の総寄付金額は約1200万円、2014-2015年度は、2600万円程度を見込んでいます。
- ◆GFMは石垣市の協力の下、2012年11月7日に少年少女向けのサッカースクールである「レアル・マドリード・ファンデーション・フットボール・アカデミー石垣」を開校いたしました。その後、2013年7月に東名古屋校、10月千葉校、さらに2014年1月横浜校、4月東京足立校を開校させ、生徒数は500名を超える規模となりました。現在も毎月10名以上在籍者が増え続けています。
- ◆ACミラン、ドルトムント、チェルシー、バルセロナ、バイエルン・ミュンヘンなど、海外クラブ系スクールとの交流戦やカップ戦開催などの企画が進み、これまで限定的であったメディアの注目も格段に上がりました。また、当アカデミーオリジナルツアー『レアルマドリード戦観戦+レアルトレーニングセンターでの練習付きツアー』など、普段の練習だけでなく、様々な企画で子供たちの貴重な体験を創造しております。
- ◆GFMは本事業により、日本のジュニア層が世界トップレベルのサッカー環境に触れ合う機会を提供することで、日本のサッカー界のさらなる発展に貢献するとともに、レアル財団の世界におけるサッカーを通じた社会貢献活動の成功のために全力を尽くしたいと考えております。

レアルマドリッドファンデーション・フットボール・アカデミーの意義

社会貢献

受講料等の収益を途上国の恵まれない子供達への寄付やサッカースクール運営費へ充てています。今後、国内でも、震災で両親を亡くした子供たちを招待するなど、様々な活動を行う予定です。

青少年教育

スクールでのサッカーの指導などによる丈夫な身体の育成、スポーツマンシップや仲間を活かすチームワーク、国際性、自分で考え、判断し、行動する、状況判断能力を持った大人への人格形成により、青少年の心技体の健全な育成を支援します。

スポーツ振興

世界屈指のブランドであるレアルマドリッドの指導メソッドにより、青少年へのサッカー指導を行い、ワールドクラスの選手を育成することで、日本のサッカー界の発展に寄与します。



国際協調

レアル財団のグローバルネットワークを活用し、世界各地のスクールとの交流を通じて、言葉や文化の違いを肌で感じるにより国際感覚を養います。

地域活性化

レアルマドリッドのブランドを活かし、メディアへの露出により、地域の認知を向上させます。
また、地元Jリーグ所属チームへ、地元出身の有能な選手を育成し、地元Jチームの戦力UPに貢献します。

Real Madrid C.F. のご紹介

1902年に創設。現在のホームスタジアムはエスタディオ・サンティアゴ・ベルナベウ。現在はリーガ・エスパニョーラのプリメーラ・ディビシオンに所属し、同リーグにおいて32回の最多優勝記録を持つほか、FCバルセロナとアスレティック・ビルバオと共にリーガ・エスパニョーラの創立以来、一度もプリメーラ・ディビシオンから降格したことがない世界を代表する名門クラブである。さらに、UEFAチャンピオンズカップおよびUEFAチャンピオンズリーグにおいても合計10回の最多優勝記録を持つ。FIFAには20世紀最高のクラブに、国際サッカー歴史統計連盟からはヨーロッパにおける20世紀最高のクラブに認められた。

2013年には、世界有数の経済誌『フォーブス』によるスポーツチームの資産価値の格付けにおいて33億ドルと算出されており、世界一の資産価値のクラブとなっている(2014年も世界一)。デロイト・フットボール・マネー・リーグによれば世界一収入のあるフットボールクラブであり、経営収入は1999年から2011年まで毎年平均14%ずつ増加している。



レアルマドリード財団のご紹介

FRMLリアルマドリード財団(以下リアル財団)の組織 (1)

リアル財団はリアル・マドリードが 社会・文化の啓蒙活動を通じて社会的責任を果たすための主体です。

リアル財団の主な目的はスポーツの内在する価値を促進し、その価値を教育の手段として活用し、社会とのつながりの場を提供し、スポーツに関連する文化的側面を普及することにあります。

また、スポーツを教育の手段として、スペインとその他全世界においてその内在する価値を促進することにあります。財団はスポーツの鍛錬を通じて人格形成に貢献したり、社会から疎外されている人々を社会に復帰させることに貢献できると考えています。また、スポーツに関連する文化的側面を広げることに関献したいと考えています。

リアル財団は政府の各部局や国内、国外のスポンサーからの支援、リアルマドリードやマドリディスタ達からの寄付金といった各方面からの支援のおかげで成り立っています。

リアル財団の活動は大きく5つの分野に分けられます。スポーツ振興、スポーツを通じた教育による価値観の形成、社会貢献事業、国際協調、企業としての活動です。

リアル財団は毎年監査を受け、その結果を理事会と教育スポーツ省に報告します。これらの報告内容はクラブの年次レポートと財団の発行しに公表されます。

<ホームページ>

<http://www.realmadrid.com/cs/Satellite/en/1193041516335/Fundacion/Foundation.htm0>

レアル財団の運営メンバー

President

Mr. Florentino Perez Rodriguez

Vice-President and Secretary

Mr. Enrique Sanchez Gonzalez

Ex officio members of the Real Madrid Board of Directors:

1. D. Fernando Fern á ndez Tapias
2. D. Eduardo Fern á ndez de Blas
3. D. Luis G ó mez-Montejano y Arroyo
4. D. Santiago Aguado Garc í a
5. D. Jer ó nimo Farr é Muncharaz
6. D. Enrique P é rez Rodr í guez
7. D. Manuel Cerezo Vel á zquez
8. D. Pedro L ó pez Jim é nez
9. D. Jos é S á nchez Bernal
10. D. Enrique S á nchez Gonz á lez
11. D. Luis Blasco Bosqued
12. D. Gumersindo Santamar í a Gil
13. D. Ra ú l Ronda Ortiz
14. D. Jos é Manuel Otero Lastres
15. D. Nicol á s Mart í n-Sanz Garc í a
16. D. Angel Luis Heras Aguado

Ex officio former presidents of Real Madrid:

1. D. Fernando Mart í n Alvarez
2. D. Luis G ó mez-Montejano y Arroyo
3. D. Ram ó n Calder ó n Ramos
4. D. Vicente Boluda Fos

Ex officio institutional members:

1. D. Jes ú s de Lucas Casas (President of the Decana Supporter's Club)
2. D. Alfredo di St é fano Lauhle (Real Madrid CF Honorary President)
3. D. Emiliano Rodr í guez Rodr í guez (Presidente of the Association of Basketball Veterans)
4. D. Alberto Ruiz Gallard ó n (Mayor of Madrid)
5. D. Carlos Escudero de Bur ó n (Patron for Life)
6. D. Rafael de Lorenzo Garc í a (Patron for Life)
7. D. Jos é Diego Seti é n (oldest Real Madrid Club Member since 22 June 2011)

Comission elected by the Board of Directors

1. D. Fernando Acedo Rico
2. D. Amancio Amaro Varela
3. D. Antonio Botella Garc í a
4. D. Angel Campos Mart í n
5. D. Marcelino Fern á ndez Verdes
6. D. Luis Larrinaga de Luis
7. D. Luis Mar í n Fern á ndez
8. D. Luis Mart í nez-Laforgue Solera
9. D. Pedro Antonio Mart í n Mar í n
10. D. Mario Masi Ruiz
11. D. Juan Carlos S á nchez-L á zaro Carrasco
12. D. Manuel Torres G ó mez

Director General From the Realmadrid Foundation

D. Manuel Redondo Sierra

Manager

D. Julio Gonz á lez Ronco

FRMの活動範囲

活動範囲は欧州、中南米、アフリカ、中東、アジアと全世界に及んでいます。



レアル財団の活動事例 ～南アフリカ～

Komati Foundation: 教育を通じて南アフリカにより良い将来を構築することを目的とした非営利組織



2010年6月25日、レアルマドリードはレアル財団を通じてアフリカ大陸での活動を継続するために南アフリカに社会活動とスポーツ振興の組織を開設することを公表しました。教育、人材開発、社会福祉の分野で業務を行う現地の非営利組織（NPO）であるKomati Foundationと提携して、「imFunda Social Integration & Sport」という事業の立ち上げを行いました。

設立にあたり、レアルマドリードは、「レアル財団はスポーツを通じてチームワーク、忍耐力、規律といった価値観を活用し、生徒たちの人格や倫理観を育成し、地域の発展に貢献します。」との声明を発表しました。

Komati Foundationと財団は、ヨハネスブルグ大学とプレトリア大学のスポーツ分野の協力の下、アカデミーを設立します。子供達の保護と教育を目的としたNGOである「Childline South Africa」がプログラムの教育をサポートします。Mamelodi とSowetoに住む恵まれない360人の子供達は、このアカデミーの初年度のプログラムを受けることができます。私立の学校からのボランティアによるサポートも受けます。

このアカデミーの主な目的は、スポーツの内在する価値を教育活動を通じて促進し、人格形成に貢献することにあります。スポーツトレーニングと数学、科学、言語、コンピューター・スキルとを結びつけた教育を提供します。

生徒は6歳から17歳までの男子、女子であり、その中には身体的、精神的障害のある子供たちも含まれます。なお、生徒の能力は問われません。レアルマドリードは才能ある子供達を探すためではなくあくまで奉仕の精神で事業を営んでいます。

FRMは既存の海外でのアカデミーで培われた経験とノウハウを活用し、現地パートナーのサポートを得ながら、長期的な地域社会の利益を最大化することを目標としています。とりわけスポーツ面に関してはそのノウハウはコーチへのトレーニングマニュアルや子供達のアクティビティのスケジュール作成に活かされます。スポーツ面での支援は、最低週2回の授業に加え、サッカーのトレーニングや技術指導に加えた一般的な体力向上トレーニングを含みます。

Childlineとの提携を通じて、平和や人権の尊重といった基本的な教育が学校にて実施されます。多様な背景や環境から育った子供達への豊富な指導経験をもとに、Childlineはアカデミーに適したプログラムを提供するのに最適なパートナーです。また、このプログラムは子供達のみならず、両親や先生たちにもメリットがあります。

レアル財団の活動事例 ～アルゼンチン～

アルフレッド・ディ・ステファノ社会スポーツ・スクール: *Escuela Socio Deportiva "Alfredo Di Stefano"*



2003年、FRMとla Obra del Padre Mario (OPM) は、González Catánの地に地域発展とスポーツ振興のための学校であるアルフレッド・ディ・ステファノ社会スポーツ・スクール(ESD)を設立することを発表しました。

同事業は、イタリアの著名な機関であるIntercampus de Milánのサポートも得ています。

OPMはスポーツの分野に進出し、財団とともに地域貢献を行います。

同スクールでは教育活動の一環として、アルゼンチンの子供達や若者達にサッカーを通じて体系的にスポーツを学ぶ機会を提供します。

2005年から2007年までの間、麻薬撲滅運動において、アルゼンチンで最も重要な実施機関であるSEDRONARから資金支援を受け、ESDはスポーツ活動を通じた麻薬防止プログラムの提供を行いました。

ESDの支援の下、全国各地の500人の子供達が、サッカーバスケットボール、バレーボール、水泳、ハンドボールといったスポーツの指導を受けています。子供たちは年齢別にグループ分けされ、それぞれのグループには約25人の生徒がいます。

クラスはスポーツごとに編成され、それぞれに指導者によるフィジカルトレーニングが行われます。グラウンドでは、OPMのフィジカルトレーニング専門の研修生たちが指導にあたります。

レアル財団の活動事例 ～エルサルバドル～

FUNDACIÓN AMIGOS DEL REAL MADRID EN EL SALVADOR (FUNDAMADRID)



2003年8月14日、La Fundación Amigos del Real Madrid en El Salvador (FUNDAMADRID)は20人の設立パートナー（ソシオ）によって設立されることが公表されました。FUNDAMADRIDの目的は、

- ・ 財団によるスポーツスクールを設立し、運営すること、
- ・ スポーツ技術の習得を行い、その内在的な価値を活用することにより、子供達や若者達の非行防止を図る
- ・ 卒業生達やその両親達のサポートの下、社会貢献の事業を実施する

FUNDAMADRIDは、6か所の拠点で以下のカテゴリーでのスクール事業を行っており、約600人の生徒を指導しています。
Pre-Benjamines (6-7歳)、Benjamines (8-9歳)、Alevines (10-11歳)、Infantiles (12-13歳)、Cadetes (14-15歳)

2003年10月3日、レアルマドリード会長のFlorentino Pérez氏と、FUNDAMADRID会長のEnrique García Prieto氏は、Emilio Butragueño氏、Salvador Samayoa氏（FUNDAMADRID副会長）、在スペインエルサルバドル大使のMiguel Angel Salaverría氏の立ち会う下、FUNDAMADRIDの設立について正式に合意しました。

事業内容

子供達、とりわけ10代の若者達は、特別な注意やサポートを必要としている年代です。モチベーション、自尊心、人格、規律、学問における成功、家族との関係はいずれもスポーツ技術の向上において重要な要素です。連帯感や社会貢献の精神を形成することは、日常生活の様々な局面において成功をもたらす重要な価値観です。FUNDAMADRIDはスポーツの指導を通じて生徒たちに以下のようなプログラムを提供しています。

- ・ 社会貢献活動
- ・ インターカルチャープログラム（マドリードへの訪問）
- ・ キャンプ、課外活動
- ・ 医療サービス
- ・ 栄養に関するプログラム

GFMのご紹介

- 名 称 ■ 一般社団法人グローバル・フットボール・マネジメント (GFM) <http://www.gfm-real.com/>
- 概 要 ■ 一般社団法人グローバル・フットボール・マネジメントは、リアル財団より、リアルマドリード公式サッカースクールを日本国内に開校する独占権を有する唯一の法人です。
- 代 表 理 事 ■ 増田 稿平 (兼リアルマドリード・ファンデーションフットボールアカデミー
石垣校、東名古屋校、千葉校、横浜校、東京足立校代表)
- 理 事 ■ 久保ひろし
- 協 力 ■ 株式会社デスティネーションズ <http://destinations.co.jp/>
ヴァスコダ・ガマ法律事務所 <http://www.vascodagama.jp/>
ドリームインテリジェンス株式会社 <http://dreamintelligence.com/>
- 目 的 ■ 日本国内の少年・少女に対して、サッカーを通じた国際交流及び文化交流を普及し、推進するため、サッカースクールの組成・運営を通じて、外国のサッカークラブチームで蓄積されたサッカー技能を伝達すること、国際的なサッカープレイヤーを育成すること並びに少年・少女と諸外国のサッカークラブとの交流を促進することを目的とする。
- 事 業 ■

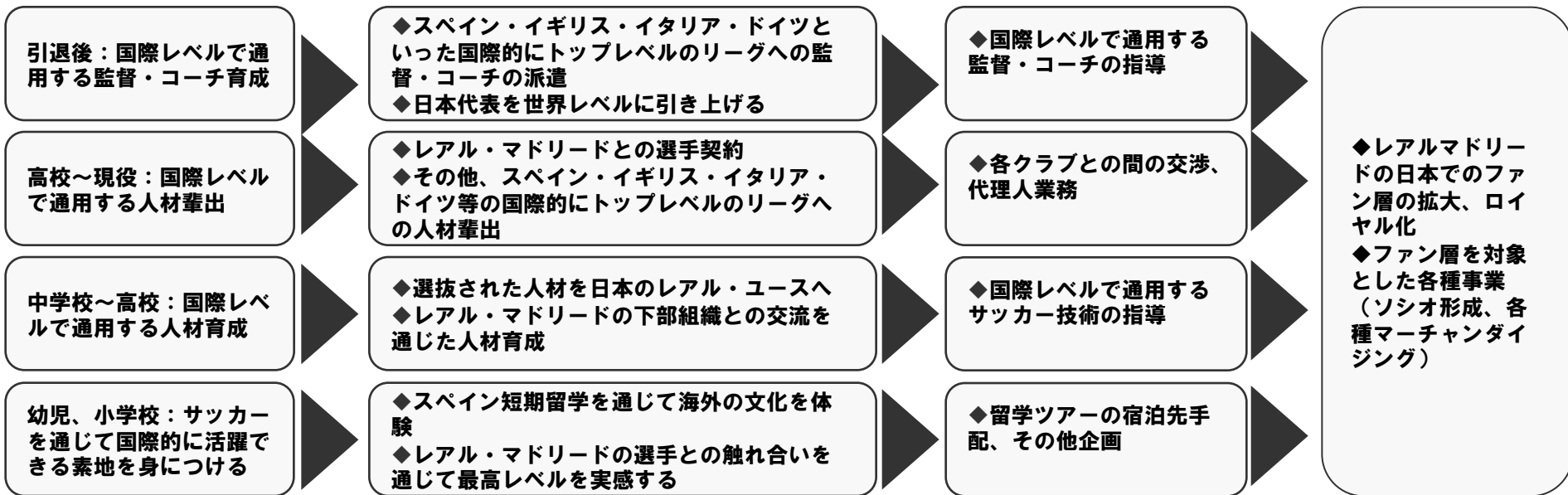
 - (1) 諸外国のサッカークラブチームで蓄積されたサッカー技能及び指導方法に関する調査並びに研究
 - (2) 日本国内における少年・少女を対象とするサッカースクールの組成及び運営
 - (3) 少年・少女を対象とするサッカースクールの組成・運営に関する助言
 - (4) 諸外国のサッカークラブチームで蓄積されたサッカー技能の伝授及び普及
 - (5) 諸外国のサッカークラブチームで蓄積された指導方法の伝授及び普及
 - (6) 少年・少女サッカープレイヤー及び指導者の育成
 - (7) 諸外国のサッカークラブチーム等を通じた国際交流及び少年・少女に対する国際交流の機会の提供
 - (8) 諸外国のサッカークラブチームに関する調査、研究、日本における広報及び普及活動
 - (9) 全世界におけるサッカー興行等を通じた慈善活動
 - (10) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

GFMの業務内容

- ◆ GFMは、リアル財団の国際的なスクール事業振興及び国際的な社会貢献活動に賛同し、これらに関する日本における事業パートナーとして、リアル財団との間にスクール事業運営の独占的提携契約を締結しました。
- ◆ GFMはリアル財団に蓄積されたノウハウを活用し、少年少女を対象とするサッカースクールの組成、運営、並びに運営に関する助言等を行います。また、サッカースクールを通じた国際交流・国際教育の機会の提供、並びに国際的なレベルで通用する日本のジュニアサッカー選手の育成も行っています。
- ◆ 具体的には夏季・春季休暇等を利用したスペイン・マドリードへの遠征ツアー等を定期的に企画し、リアル財団が主催する世界各国の少年少女向けの短期サッカースクールの受講や、スペインリーグ試合観戦、また、将来的にはスペイン語語学研修等の機会の提供を検討しています。
- ◆ GFMが運営するサッカースクールにおける売上金の一部は、リアル財団を通じて、世界各地(昨年度はアフリカ)における最貧国のサッカースクール運営費など、リアル財団による社会貢献活動の為に資金として活用されます。
- ◆ また、本格的にプロフェッショナルサッカー選手を目指す一部の選抜されたスクール生については、リアルマドリードのユースクラブチームへの入団テストを受けることができます。(特別推薦制度)
- ◆ その他将来的には以下の業務の実行も視野に入れていきます。
 1. 諸外国におけるリアル財団の少年少女向けサッカースクール又はその他の社会貢献活動として実施される各種イベントとの連携又は協同により、国際的な社会貢献活動を実施する。
 2. 国際的なレベルで通用するサッカースクールにおける指導者を育成するため、一般にも広く開放されたコーチング・スクール(指導者のためのスクール)を開設する。

将来像

レアル財団の一貫したコミットメント



人材マネジメント

マーケティング支援

優れた日本の人材の発掘・育成、レアル財団の日本での事業振興

GFMメンバー略歴

代表者紹介

増田稿平 （ますだこうへい）

一般社団法人グローバルフットボールマネジメント代表理事
株式会社デスティネーションズ代表取締役CEO

1969年9月生まれ 1994年3月 早稲田大学 政治経済部経済学科 卒業 1994年4月 株式会社オリエンタルランド 入社 入社後2年間は東京ディズニーランド内でのゲストサービススタッフ勤務。その後、株式上場のタイミングで経営企画室へ異動。関連資料の作成、中長期経営計画の策定業務を担当。東京ディズニーシープロジェクトの正式スタートとともに、『東京ディズニーリゾート構想』を提案し、施設、サービス、ブランディングの全てをリゾート全体のトータルでマネジメントする専門部門を立ち上げた。Non Disney Brand ホテル「パーム&ファウンテン テラスホテル」を企画。用地探索、交渉、コンセプトデザイン、マーケティングプラン、事業計画、ネーミングまで担当。東京ディズニーシーが開業した翌年2002年より新規事業開発部門へ異動。ハワイオアフ島、バリ島、シンガポール、マレーシアなどに長期滞在し、テーマパークマーケティング、スモールラグジュアリーリゾート開発、ホテルの買収検討、街デザインなどを担当。2007年より沖縄プロジェクトを立ち上げ。本島北部においてテーマパークのような街開発、リゾートホテルの構想・企画を行った。2008年1月独立。スパやリゾートホテルのセットアップ（開業）コンサルティングを経て、2010年6月、株式会社デスティネーションズを設立。Disney ホスピタリティ教育等に関するセミナー、講演会、執筆を開始。2012年一般社団法人グローバルフットボールマネジメントを設立。リアルマドリッド財団とのライセンス契約を締結し、リアル・マドリッド・ファンデーション・フットボールアカデミーを開校。

レアルマドリード・ファンデーション・フットボール・アカデミー のご紹介

レアルマドリッド・ファンデーション・フットボール・アカデミーの活動



石垣市長



石垣校開校式



レアル・マドリッド・ファンデーション
フットボールアカデミー石垣

レアルマドリッド
派遣コーチ

GFMはレアル財団、石垣市と協力して2012年11月7日に「FRMフットボールアカデミー石垣」をサッカーパークあかんまを本拠地として開校しました。特に石垣市からは、正式な「後援」組織の認定を頂き、インタビューボードにも石垣市のマークが入っております。生徒の募集要項を観光課にて配布頂くなど、運営に関してのご支援も頂き、将来的には、サッカーパークあかんまを石垣市とともに「アジアサッカーパークのメッカ」にしていくことを目指しております。

その後も、東名古屋校、千葉校、横浜校、東京足立校を立て続けに開校し、現在全国5校、生徒数500名以上の在籍にて運営を続けており、今後も、ひとりでも多くのこどもたちにレアルマドリッド式のサッカーを楽しむ教室を受けてもらえるよう、全国に順次開校していく予定です。



東名古屋校 レアル派遣コーチとスクール生



千葉校 ヘッドコーチとスクール生



東京足立校 練習風景

通常の練習に加え、以下の活動を実施しています。

- ・ 日本国内の他のサッカースクールとの試合や大会参加などを通じた交流活動
- ・ マドリード遠征ツアーの実施(現地での短期コースの受講や試合観戦等)
- ・ アフリカ、中南米、欧州、アジアと全世界にリアル財団が持つサッカースクールとの交流活動 (予定)



ACミランスクール との定期交流戦



こどもチャレンジカップ出場



アーセナル スクールとの定期交流戦



スペイン レアルマドリッドトレセンでの短期コース受講



スタジアムバックステージツアー(ロッカー)



スペイン・マドリッドツアー (トレド観光)

レアルマドリード・ファンデーション・フットボールアカデミー 運営哲学・運営理念

1、サッカーは楽しむもの

サッカーは精神修行の道具でも、人格形成の手段でもない。つらいことを我慢することが目的でもない。サッカーは楽しむもの。楽しければ自然と子供は一生懸命になり、結果として色々な部分が鍛えられる。

2、サッカーはチームスポーツ

仲間を理解し、尊重し、仲間を活かす。子供の頃は、少しドリブルが上手だったり、シュートがうまかったりすると、ほとんどの状況は打開でき、チームも勝ったり出来るし、なにしろ目立つことが出来る。だから子供も個人技の練習をやりたがるし、テクニック重視のスクールも多い。勝つことが必要なクラブチームでは個人のテクニックに頼った方が勝利しやすい。短期的な視点に立てばこれは別に間違ったことではない。ただ、テクニックは上のレベルに行くと、必ず自分より上のテクニックの人間が現れる。世界は広いので、必ず現れる。その時に、個人技以外の選択肢を持っていないと、突然全く通用しない選手に急降下してしまう。そこから仲間を活かす練習をすれば良いのだけれど、なかなかテクニック重視で育ったこどもは、全体を観て、他人を理解し、他人を活かすという発想には変われない。出来る限り早い段階で、個人技に頼るクセから脱却し、仲間を活かし、様々な選択肢を自分で作り、その中から状況に合った判断を出来る子供に育てる。当校の練習は、チームとして機能するもの、仲間との関連性を持たせたもの、状況判断能力を養うものに特化する。人生も同じで、学校や、会社に入った時、自分だけでは生きていけない。仲間を理解し、尊重し、仲間を活かすこと。組織として機能するというのは、個性を殺して型に合わせるのではなく、個性を理解し、個性を活かし合うこと。

3、個人技の練習は自分でやる

チーム練習がほとんどである当校の練習をしっかりとこなすためには、足元のテクニックが伴っていないと難しい場合が多い。でもその手段である個人のテクニック練習は、全体練習ではない。練習のための練習は目的を見失う。せっかく様々な個性が集まっているのに、個人の練習をするのは時間ももったいない。子供が適度にテクニック不足にストレスを感じてもらうことは悪いことではない。そういう子は自分でテクニックの練習を始める。テクニックは目的ではなく手段であるということを自分で気づいて、自分で習得しようと思ったら上達も格段に早い。朝から晩まで色々な場面で一人で練習する時間はある。スペインで学ぶレアルマドリードのスクール生は夜寝る前の最後の感触は足とボール。そのまま枕元にボールを置いて、朝起きたら最初の感触も足とボールにして生活しているらしい。当校の練習は1回1時間強しかないが、それ以外の時間に対する考え方を覚えてもらい、持っている全体の時間の中で上達してもらうことが大切。当校に入校しても、テクニックが練習時間中に突然上手くなるわけでもなく、効果を短期間では感じられないかもしれない。それでも、そういうスクールがあっても良いと確信している。

4、やたら教え過ぎない

自分で考え、自分で判断し、自分で行動する選手に育ててもらいたい。大人が教えすぎることによって、子供は自分で考える力が落ち、指示を待たなければ動けなくなってしまう。試合を見に行くと、お父さんやコーチが選手に、「シュート!」とか「ドリブルで抜け!」とか「逆サイド!」とか、とにかく指示が多い。これでは自分で考えられる子には育たない。いいかえれば「個」の強い子に育たない。「個」は個人技の個と勘違いしている人が多いが、個の自律という意味。

大人は、なまじっか経験が多いと教えたいという気持ちは大切だからそれは全く悪いことではない。でも度を過ぎるとそれは指示待ちの子供を作ってしまう可能性がある。自分で考えられなくなると、コピー&ペーストに頼るようになる。資料ひとつ自分で作れなくなり、雛形やサンプルを探すようになる。答えは与えられるものでなく自分で見つけ出すということを感じてもらうため、極力答えは与えない。

5、状況判断能力を鍛える

状況判断を瞬時にするシチュエーショントレーニングに重点を置く。サッカーは攻守が目まぐるしく変わり、状況は常に変化している。レベルが上がると、周囲から指示してもらう猶予などない。そこでどのような最適な判断が出来るかが勝負を分ける。最近日本では「決められない政治」なんて言葉を聞くけど、決めなければならないシチュエーションを経験しないで大人になってしまったら当然大人になっても決められない。海外ではスポーツ選手は引退してからも尊敬され続ける。様々な状況判断を瞬時にしなければならない経験をしている特別な人たちだから。日本ではそうはいかない。引退した途端、「子供の頃からスポーツ一筋で、世間知らずで何も出来ない人」のような見られ方をする。スポーツを通して、このような状況判断トレーニングを積んでいると、その後の人生で必ず訪れる決めなければならない場面で抜群の判断力を発揮する。長い人生においては状況判断能力が必要な場面は幾度となく訪れ、その結果次第で全く違う人生を送ることもある。

6、国際感覚を身につける

練習時に、挨拶や練習で使う用語などのスペイン語講座を実施したり、オリジナルマドリッドツアーや海外クラブ系スクールとの交流試合など、国際的な感覚や発想を若い段階で経験してもらえるアカデミーを目指す。

7、周囲のサポートに感謝する

プロの選手になると、栄養士、トレーナー、マネージャー、スポンサーなど様々なサポートに支えられて初めてプレーすることが出来る。スクールに通う子供も、食事、送迎、洗濯、用具の購入、受講料などの父兄のサポートがなければスクールに通うことは出来ない。子供の頃は、そのような父兄の様々なサポートに気付かず、感謝する機会もない。親になって初めて、自分の親のサポートに気付くほうが多い。まずはサッカーをやらせてもらっている環境に感謝し、それを支えてくれている父兄や周囲のサポートに感謝する。そのインテリジェンスがなければ、決して素晴らしい選手になることは出来ない。

8、リアルマドリッドメソッドを純粋に体現する

リアルマドリッドアカデミーのコーチはJリーグ出身者とかでない方が多いことが多い。確かにJリーグは日本では最高峰。知識も経験も技術もプライドもある。でもリアルアカデミーを選んだ子供達は世界レベルのスペイン、レアルのメソッドを学びたいのであって、Jリーグ出身者の独自のメソッドを教わりに来ているわけではない。当校はコーチ個人の独自の経験やスキルを教えることを出来る限り避ける。そういうスクールはいっぱいあるからそれを求める人には、たくさん選択肢がある。スペインサッカー、リアルマドリッドのことを心を開いて学び、それをピュアに子供が感じられる練習環境を作ってくれる人が当校にとっての最高のコーチ。既存と同じようなスタイルのスクールを作り、生徒を奪い合うようなことはしない。物凄い数のスクールの中に、スペイン、レアル式に特化して純粋に実践するスクールがひとつくらいあってもいい。選ぶのは子供たちと保護者の方々。選択肢があるということはとても良い機会がそこにあるということ。その新しい選択肢、機会を作ることに専念する。

協賛制度のご紹介

レアルマドリード・フットボール・アカデミーでは、レアルマドリード財団および一般社団法人グローバルフットボールマネジメントのこれらの活動について、その趣旨にご賛同頂き、資金その他のご支援を頂ける企業・団体・個人に対する協賛制度を運用しております。

レアル財団へのライセンス料の他、最貧国のサッカースクール運営費への寄付等、通常のサッカースクールにはない支出をスクール生の受講料のアップに転化しないため、これらの費用をご支援頂くことを趣旨としております。

協賛制度は、各アカデミーごとに

- ・エグゼクティブスポンサー
- ・オフィシャルスポンサー
- ・オフィシャルサポーター

に分類されております。詳細は次ページ以下を御覧ください。全アカデミー共通の協賛も可能ですので、別途ご相談下さい。

スクールという特性上、決して宣伝効果が高いわけではありません。企業、団体、個人として、地域への貢献、こどもの夢支援、最貧国支援という観点からのご賛同を賜り、レアルマドリード財団の活動にご参加頂ければ幸いです。

■エグゼクティブスポンサー(1校につき3社限定)

・エグゼクティブスポンサーに付与される権利

- ①練習用ユニフォームに企業の名称または指定の企業ロゴを掲載する権利
- ②本サッカースクールに関連して行なわれる記者会見の背景ボードに、オフィシャルスポンサー企業または商品等の名称、ロゴまたはマークを掲出する権利。
- ③自社商品等の広告、宣伝及びプロモーションに関して、本サッカースクールの協賛企業である旨告知する権利。
- ④自社商品等の広告、宣伝及びプロモーションに関して、本サッカースクールの名称及び承認済み画像を使用する権利。
- ⑤本サッカースクールの広告・宣伝活動において、オフィシャルスポンサー企業が本サッカースクールの協賛スポンサーである旨告知を受ける権利。
- ⑥本サッカースクールの公式ホームページに、本サッカースクールの協賛スポンサーである旨告知を受ける権利、御社名などの掲出、指定URLへのリンク。
- ⑦レアル・マドリード・ファンデーション・フットボール アカデミー公式ユニフォーム(貴社企業名入り)の進呈。

【スポンサー料】

① 前胸部分：500万円/年間



② 後背肩部分：350万円/年間



※ユニフォームはイメージです

③ 左肩口部分：150万円/年間



インタビューボードイメージ

■オフィシャルスポンサー(1校につき10社限定)

・エグゼクティブスポンサーの権利①の「ユニフォームへの企業ロゴ掲載」以外は、エグゼクティブスポンサーと原則同じ権利が付与されます。

【スポンサー料】 50万円/年間

■オフィシャルサポーター(1校につき200名限定/各AB100名)

- ・当アカデミーが企画する【完全オリジナル・スペイン・マドリード視察ツアー】への参加資格
- ・本サッカー学校の公式ホームページに御社名などの掲出、指定URLへのリンク

【サポーター料】 A、5万円/年間 ご提出いただくバナーによるリンク&リアルアカデミーオリジナル名刺100枚
B、1万円/年間 テキストバナーによるリンク

注意事項

※スポンサー決定の最終承認はリアル財団が行います。

※権利に基づいた企業名、企業ロゴの露出におけるフォントサイズなどは拠出額に応じて変わる場合があります。